

海外駐在員現地レポート・サハリン事務所(20215)

報告者 主査 柳田 裕貴

(件名) ロシアにおける新型コロナウイルス感染拡大への対応について

(1) 感染状況

ロシアの5月末現在の累計感染者数は507万1917人、累計死亡者数は12万1501人です。

3~4 月に1日5千人程度であった1日当たりの新規陽性者数は、直近2週間は7~9000人以上と増 加傾向にあり、昨秋以降の第2波では一日当たり3万人近い新規感染者が発生していたことを考える と、未だ安心できる状況にはないと言えます。

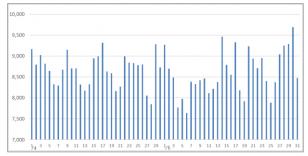
ロシアは国内で4種類のワクチンを製造しており、すでに1670万人(国民の11.6%)が1回以上接種 を受けています。

■ロシアにおける1日の新型コロナウイルス感染者数(人) ■4-5月の感染者数推移

5/18 5/19 5/20 5/22 5/24 5/215/23 8, 183 7,920 9, 232 8,937 8,709 8,951 8,406 5/25 5/26 5/275/28 5/295/30 5/31 8, 373 9.039 9, 252 9, 289 9,694 7,884 8,475

2 週間平均感染者数: 8,739 人

(データ元:ロシア連邦消費者権利及び福祉監督庁ホームページ)



(2)企業向け経済支援対策

・金融支援~雇用維持のための無利子・低利(3%)融資 基幹産業関連企業向け運転資金低利(5%)融資 6か月間の返済猶予・利払免除

- ~納税猶予・分割納付、税務調査の延期 税制
- ・その他 ~事業維持給付金(深刻な影響を受けた中小企業向け)

感染予防対策補助金(中小企業向け)

不動産賃借料(支払い猶予分)の均等返済

業種別の補助金等(旅行観光、自動車、農林水産・食品加工、軽工業等)

各種営業免許の自動更新

・破産手続き開始猶予(基幹産業関連企業向)

企業向けの支援策は、「深刻な影響を受けた業種」「基幹企業」「中小・個人事業主」など、要件が細分 化されています。これは、新たな政府支出を最小限に抑えて、最大の政策効果を狙ったものと考えられ ます。ロシアでは、ソ連崩壊後に財政が破綻した反省から、緊縮財政を至上とする傾向があります。

連邦政府債務残高は対 GDP 比 13%(2018 年)と、先進国やほかの新興国と比べ低位であり、数字の上で は、より大胆な財政出動も可能と思料されます。

日本でも国の「無利子融資」が話題となりました。ロシアでは一般的な普通預金金利が5%程度と、日 本よりも高金利です。企業が銀行から融資を受けるに際しても、ロシアでは 3~5%ならかなりの「低 金利」です。

「深刻な影響を受けた企業」は事業維持給付金の対象になります。雇用を90%以上維持することが条 件です。さらに 2021 年、登録失業者を新たに雇用すると、3 か月分の賃金に相当する補助金が得られ る制度が新設されました。



海外駐在員現地レポート・サハリン事務所(2021.5)

報告者 主査 柳田 裕貴

(3) 感染防止対策·経済活動の制限

- ■感染防止対策・経済活動の制限
 - ・2020年6月以降、小売・各種サービス(外食、観光、理美容等)が各地で順次再開。
 - ・2020年11月以降、外食・娯楽遊興施設の深夜営業停止措置等が再導入されたが、モスクワ市で2021年1月27日に深夜営業が解禁。その他の地域も順次解禁。
 - ・連邦国民権利保護・福利監督局(ロスポトレブナドゾル)が定める業種別衛生・防疫推奨基準有。 その他、各地方政府でも独自の衛生・防疫基準を設定。
- ■現地(モスクワ市)の動向
 - ・2020年5月12日以降、工場及び建設現場の活動が再開。同6月1日以降、食料品以外の小売店の 営業が再開。同6月9日以降、サービス産業の営業が順次再開。
 - ・2020年9月以降、展示会の開催を許可。
 - ・2021年1月27日、企業従業員の在宅勤務比率基準(3割)を撤廃。

(4)報告者所感

5月9日の戦勝記念日には、例年と同じように大通でパレードが行われ、夜には花火もあがっていました。

サハリン州政府前の広場では、軍服を着た学生たちがダンスや歌を披露していました。大半の市民は、危機的な感染爆発は過ぎ去ったと考えているように思います。<u>ワクチンが着実に普及していること</u>もあり、イベントや会食を自粛するといった風潮はほとんどありません。

4月23日にはロシア連邦中央銀行が<u>政策金利の引上げ</u>(4.5%→5.0%)を発表しました。5月にはロシアの代表的な<u>株価指数 RTS が 1600 を突破</u>。コロナ以前の株価水準に回復しているだけでなく、2012年以来9年ぶりの高値圏を窺っているところです。

国民も相場も強気です。なるほど『景気』の気とは、『気持』の気であると改めて実感します。



